

PTA事業部だより

平成27年12月21日(月) 発行：長岡小PTA事業部

PTA教育講演会

「子どもと親のいい関係をつくるコミュニケーション」

日本学校教育相談学会山形県支部理事長 佐藤 節子先生

平成27年7月21日(火) 長岡小体育館

PTA事業部では、昨年度に引き続き、日本学校教育相談学会山形県支部理事長佐藤節子先生をお招きし、教育講演会を開催しました。

1 聴き方の「あいうえお」

あ…あいての顔を見て
い…いい姿勢で
う…うなずきながら
え…えがおで
お…おわりまで 聴く

2 子どもたちの感情を育てるもの

日々のコミュニケーション

子どもの「ただいま」の声、靴の脱ぎ方、ドアの閉め方など…日常生活の中での子どものちょっと気になることをきちんと気にかけていく。

×：「何だ、この靴の脱ぎ方は！！」

○：「何かあったの。どうしたの。」



3 アドラー心理学をもとにした子育て

(1) 行動面の目標

- ・自立する。
- ・社会と協調して暮らせる。

(2) 行動面を支える精神面の目標

- ・私には能力がある。
- ・人々は私の仲間である。

「叱る」「ほめる」に代わる子育て

4 反映的な聴き方で、

子どもと一緒に問題解決を考える

○反映的な聴き方とは、

相手の気持ちを受けとめる聴き方

- ・様々な解決策を考えられるようにする。
- ・その中から選択させる。
- ・どんなことが起こるかを話し合う。
- ・勇気づけ、約束する。
- ・後日、話し合う。

子どもが問題を抱えたら、親が解決するのではなく、一緒に考え、子どもが自分で解決する力を育てる。

5 参加者の感想から

・子どもは自分からその日の出来事をしゃべるので、コミュニケーションはとれているとは思っています。でも、どうしても手が離せず耳に入らないことがあるので、もっと子どもの話をきちんと受け止める余裕を持とうと再確認しました。

—中略— 「子どものいいところは？」と聞かれると、思わず「う～ん…」と考えて

しまう私でしたが、「夜、お風呂に入る」とか、そんなことでも長所として挙げてもいいと言われ、とても気持ちが楽になりました。一分間では語れないくらい、次々と出てくる長所に、とても温かい気持ちになれました。

- ・ ゆっくり話を聞いてあげたいと思いつつも、帰ると夕食、入浴、宿題、早く寝かせなければと、日々の忙しさの中で後回しになっていることに改めて気がつきました。昨日は、久しぶりに子どもの話をゆっくり聞くことができ、お互い穏やかな時間を過ごすことができました。これからも、できる範囲で少しでも続けていきたいと思つています。
- ・ 幼児のまだ言葉がつかない時期に、「反映」のようなコミュニケーションを行うと教わりました。小学生も同じなんだなあと思つました。
- ・ 講師の先生の一方向なお話ではなく、親達もじゃんけんゲームや話の聴き方を実践できたのが良かったです。子どもとは、これから学年が上がっていても、何でも話し合えるような関係を築いていきたいと考えてはいるものの、日々の忙しさに流されて、言葉のキャッチボールがドッジボールになってしまっていることに気づかされ、このままではいけないと思つました。STEP学習会についてもっと勉強してみたいと思つました。
- ・ 前回の「勇気づけの子育て」のときも参加しましたが、とても勉強になります。頭ではわかっている、つい叱つてしまいます。「しからない」「ほめない」今までと逆の行動…。子どもが子どもらしく、素敵に成長できるよう、頭において発言していこうと思つています。
- ・ 「叱る、ほめるに代わる子育てを」という話を聞いて、なるほどと思つました。自分の中では、いっぱいほめてあげなくちゃという思いにばかりとらわれ、子どもいるのですが、平等にほめてあげているのか、もう一人の子からは、えこひいきしてと思われてはいないかと、日々考

えながらほめていた所です。

また、日頃感情的に叱つており、子ども達はまったく反応しないという日常があったのですが、きちんと親（大人）の気持ちや要求を伝えることが大事なのだとわかりました。—中略— これまで、子ども達のことをしっかり受け止めてあげていなかった事を反省し、今後の子育てにいかしていきたいと思つています。

6 教育講演会への要望

- ・ 聞く側が毎年かわるので、またあったらいいなと思つています。
- ・ 子どもの成長に伴って、関わり方にも変化を感じているので、また関係づくりやコミュニケーションの講演を行つてほしいです。
- ・ 今回と同じような内容で良いと思つています。一方的に話すのではなく、途中ちょっとしたゲームを混ぜながら楽しく参加できました。もう少し、参加者が増えるといいです。
- ・ 別の日程よりも、授業参観後そのまま参加できることができ、とてもよかったです。でも、帰ってしまった人が多く残念でした。
- ・ 参加しやすかったが、とても暑かった。時期をずらしてほしかった。
- ・ 三連休明けの平日で、都合がつけられない人もたくさんいたのでは。
- ・ 懇談会に参加しようという意志のある人しか聞きに行かないのではないのでしょうか。とはいえ、全く別の日でも行くかどうかはわかりませんが、暑い時期ではなくていいと思つました。



～編集後記～

昨年度の反省を受けて、今年度は授業参観後に教育講演会を企画しました。猛暑で、非常に暑い体育館での講演会となってしまい、参加された皆様には大変御苦勞をおかけしてしまいましたが、佐藤先生のお話は、日頃の親子のコミュニケーションについて改めて考えさせられるものでした。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。